

■基本設計書 X.画面設計 X.1 画面一覧

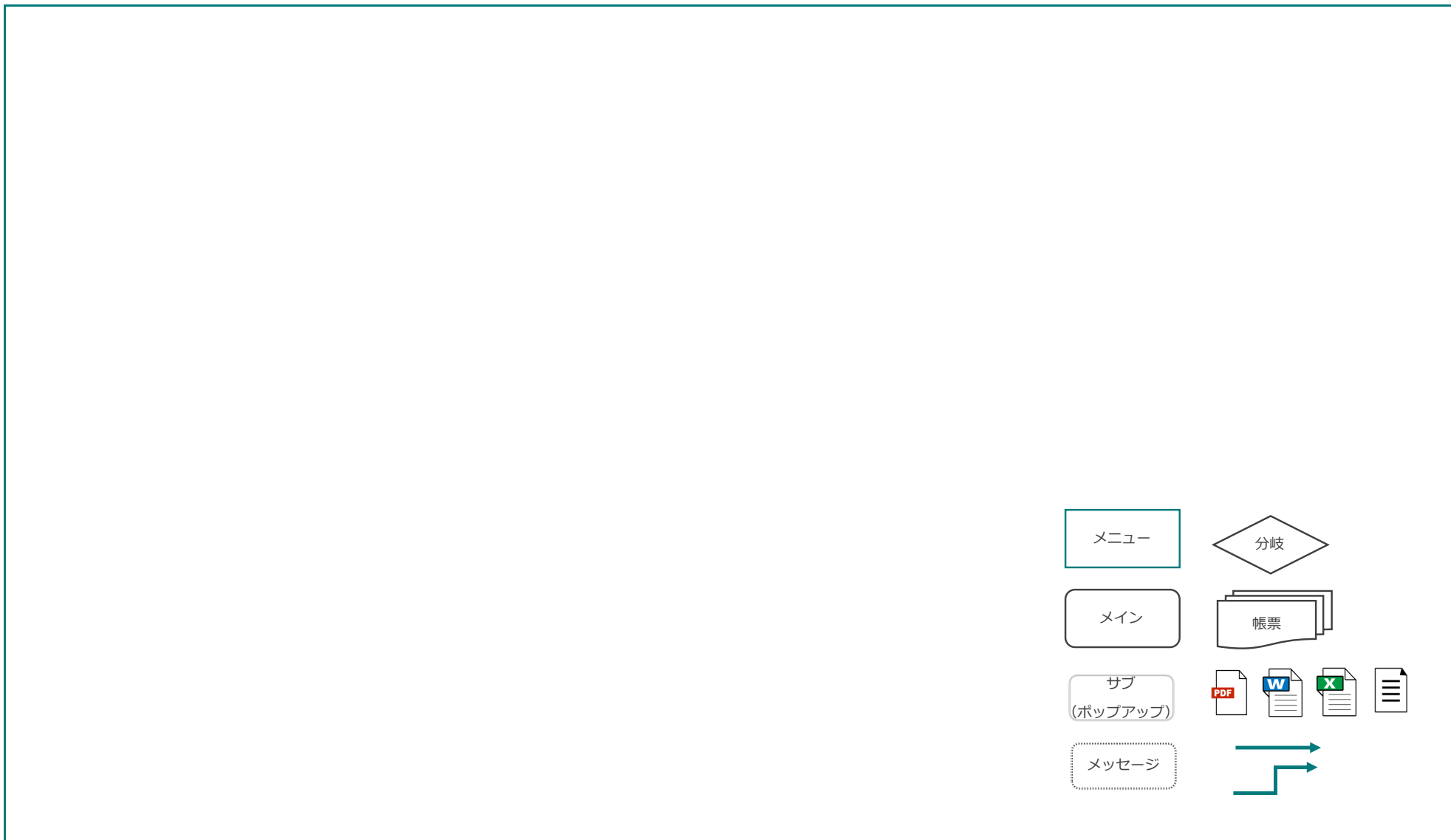
作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

No	画面ID	画面名	説明	分類	種類	備考	業務ID	プロセスID	機能ID

■基本設計書 X.画面設計 X.2 画面遷移図

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

業務ID:xxxx xxxxxxxxxx



■基本設計書 X.画面設計 X.3.1 画面定義書－画面概要－

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

画面ID:xxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxx

処理概要	呼び出し元			
	遷移先			
テーブル・ファイル	C	R	U	D

■基本設計書 X.画面設計 X.3.2 画面定義書－画面項目一覧－

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

画面ID:xxxxxxx xxxxxxxxxxxxxx

No	項目名	部品の種類	I/O	必須	データ型	初期表示	入力制約	編集仕様	入出力内容		備考
									参照/更新先テーブル・カラム	その他	

■基本設計書 X.画面設計 X.3.3 画面定義書―画面処理定義―

作成者: ○○○○○○ 作成日: XXXX/XX/XX 修正者: ○○○○○○ 修正日: XXXX/XX/XX

画面ID: xxxxxxxx x x x x x x x x x x

No	アクション名	イベント名	入力	処理概要	出力	遷移先/表示画面	メッセージID

■基本設計書 X.帳票設計 X.1 帳票一覧

作成者：○○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

No	帳票ID	帳票名	説明	分類	タイミング	出力形式	出力サイズ	出力方法	出力処理ID・名称	備考	業務ID	プロセスID	機能ID

■ 基本設計書 X.帳票設計 X.2.1 帳票定義書—帳票レイアウト—

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

帳票ID:xxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxx

概要：

■基本設計書 X.帳票設計 X.2.2 帳票定義書ー帳票項目一覧ー

作成者: ○○○○ 作成日: XXXX/XX/XX 修正者: ○○○○ 修正日: XXXX/XX/XX

帳票ID:XXXXXXXX X X X X X X X X X X X X

No	項目名	表示種類	フォント		文字詰	桁数	編集仕様	出力内容		備考
			種類	サイズ				参照テーブル・カラム	その他	

■基本設計書 X.バッチ設計 X.1 バッチ処理一覧

作成者 : ○○○○○ 作成日 : XXXX/XX/XX 修正者 : ○○○○○ 修正日 : XXXX/XX/XX

No	バッチ処理ID	バッチ処理名	説明	サイクル	タイミング	起動方式	前提条件	異常終了時処理	リカバリ手順	備考	業務ID	プロセスID	機能ID

■基本設計書 X.バッチ設計 X.2 バッチ処理全体フロー/ネットフロー

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

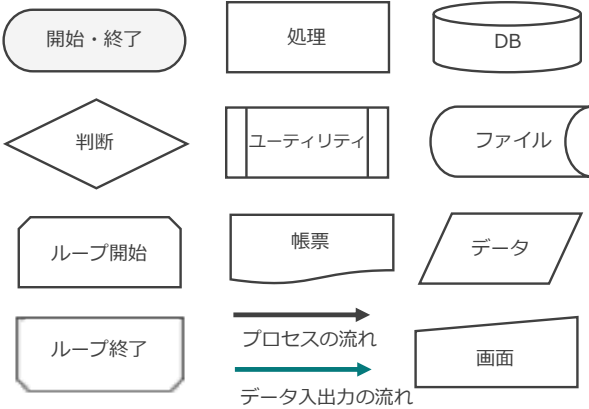
業務ID:xxxx xxxxxxxxxxxxxxx

処理グループ		説明	
<div style="text-align: right; margin-right: 100px;">  </div>			

■基本設計書 X.バッチ設計 X.3.1 バッチ処理定義書ーバッチ処理概要ー

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

バッチ処理ID:xxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxx

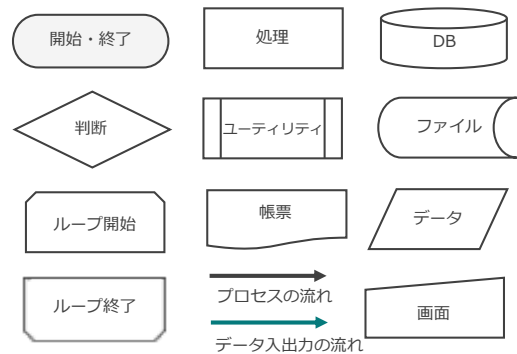
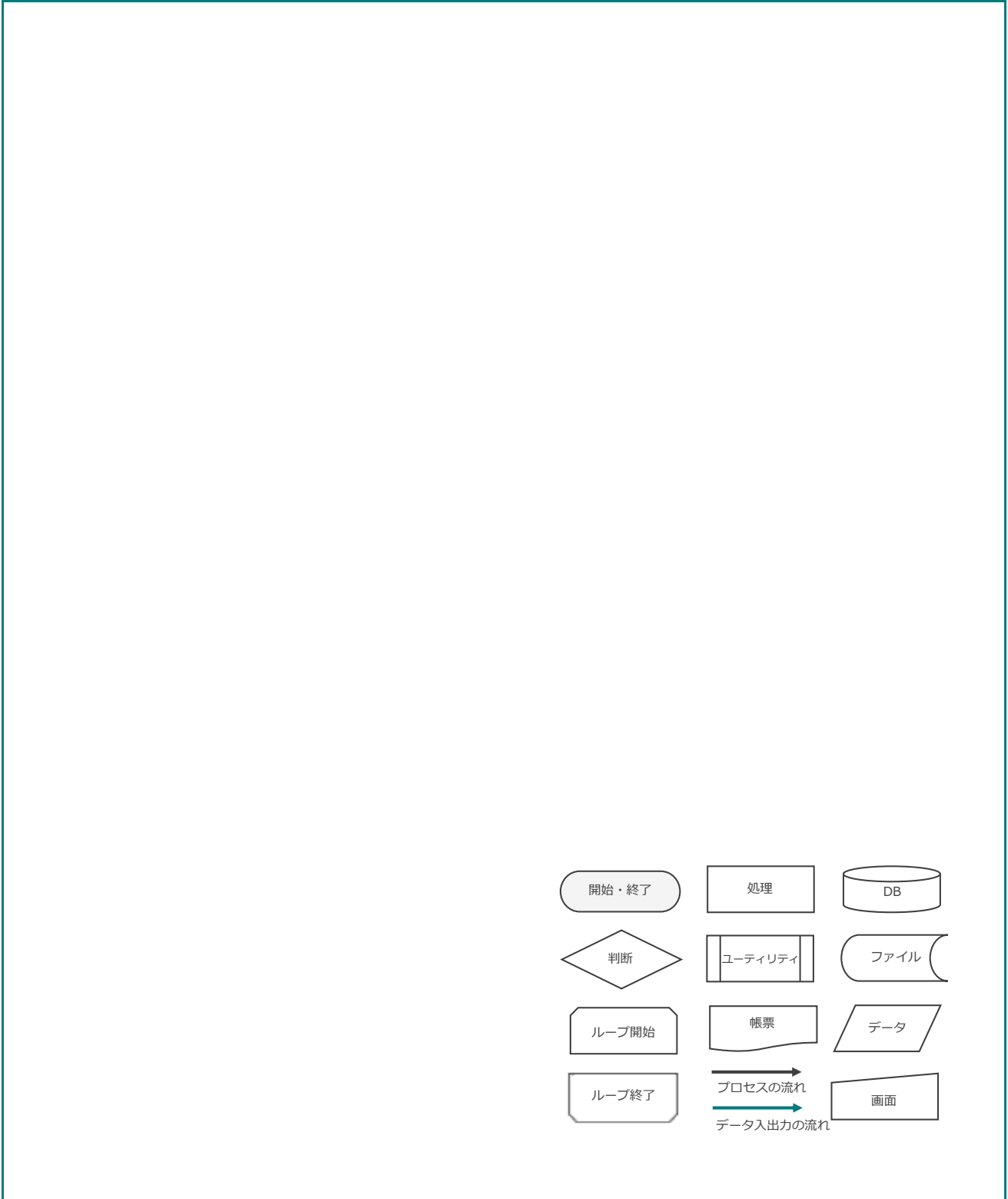
処理サイクル		起動方式		前提条件		処理概要
異常終了時処理				リカバリ手順		
<div style="text-align: center;">  <p>開始・終了 (Rounded rectangle)</p> <p>処理 (Rectangle)</p> <p>DB (Cylinder)</p> <p>判断 (Diamond)</p> <p>ユーティリティ (Vertical bar)</p> <p>ファイル (Cylinder with tail)</p> <p>ループ開始 (Hexagon)</p> <p>帳票 (Wavy bottom)</p> <p>データ (Parallelogram)</p> <p>ループ終了 (Hexagon)</p> <p>プロセスの流れ (Red arrow)</p> <p>データ入出力の流れ (Blue arrow)</p> <p>画面 (Trapezoid)</p> </div>						

■基本設計書 X.バッチ設計 X.3.1 バッチ処理定義書ーバッチ処理概要ー

作成者：○○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

バッチ処理ID:xxxxxxxx xxxxxxxxxx

処理サイクル		起動方式		前提条件	
異常終了時処理				リカバリ手順	
処理概要					



■基本設計書 X.バッチ設計 X.3.2 バッチ処理定義書ーバッチ処理定義ー

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

バッチ処理ID:xxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxx

処理No.	処理内容	I/O	データ	共通処理ID

■基本設計書 X.ファイル設計 X.1 ファイル一覧

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

No	ファイルID	ファイル名	説明	ファイル形式	入出力処理ID・名称	備考

■基本設計書 X.ファイル設計 X.2 ファイル定義書

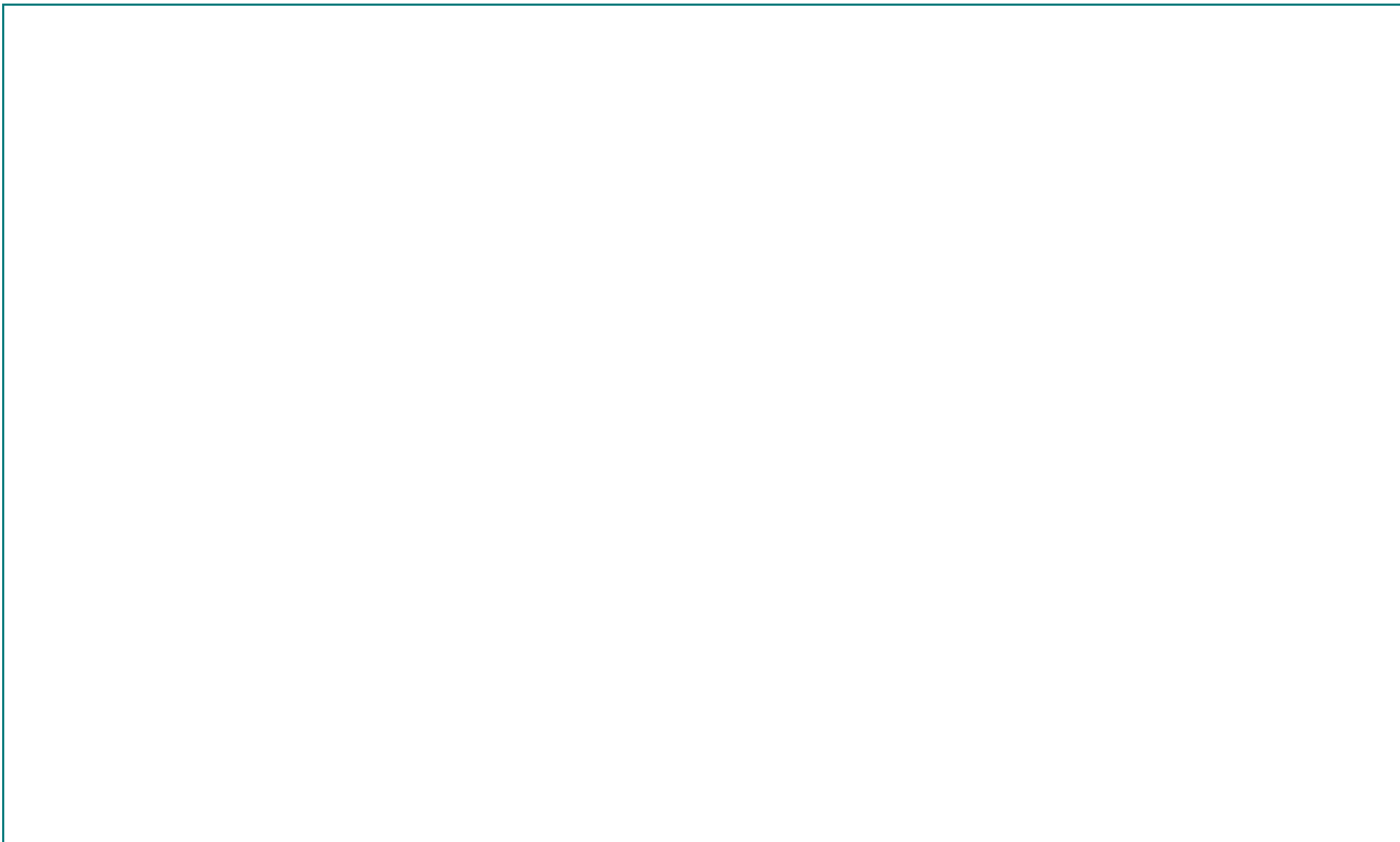
作成者：○○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

ファイルID:xxxxxxxx xxxxxxxxxx

No	レベル	項目名	データ型	桁	必須	編集仕様	入出力内容		備考
							参照／更新先テーブル・カラム	その他	

■基本設計書 X.外部インターフェース設計 X.2 外部システム関連図

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX



■基本設計書 X.データ設計 X.1 項目名付与ルール定義書

作成者：○○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

データ項目名に関して統一感を持たせ、システム全体で不必要な同義語の発生を防ぐため、命名ルールを以下に定義する。

■用語の定義

1. 主要語：管理対象を表す（業務／機能など）

例) 受注、請求、支払、・・・

2. 修飾語：意味内容を説明する

例) コードや名称の種類を表す 商品、取引先、社員、・・・

データの粒度を表す 会社別・部別・部下別、ヘッダ・明細、・・・ など

3. データ種別（必須）：データの属性を表す

例) コード、フラグ、区分、日付、金額、名称、・・・ など

4. 回数：同種のデータを同時に複数使うケースに利用する

例) 明細金額1、明細金額2、・・・

休日1、休日2、・・・ など

■項目名の命名ルール

基本構成

主要語（任意）＋修飾語（任意・複数指定可）＋データ種別（必須） ※ ＋回数（任意）

構成例（いずれの場合もデータ種別は必須）

主要語＋修飾語＋修飾語＋データ種別※＋回数

主要語＋データ種別※＋修飾語＋回数

主要語＋修飾語＋データ種別※＋修飾語＋回数

※データ種別：「データ種別定義書」の「項目名付与時データ種別」を使用する。

例) データ種別定義書：データ種別・会社名 項目名付与時データ種別・名

データ項目辞書：データ項目名・取引先名

■基本設計書 X.データ設計 X.2 データ種別定義書

作成者：○○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

No	データ種別	項目名付与時データ種別	データ型	桁	説明	備考
	フラグ	フラグ	文字列	1	「0」(OFF・無し)「1」(ON・有)の2つの値のみ持つものに利用する	
	区分	区分	数字	2	0~99で意味、名称を定義するものに利用する	
	コード8	コード	文字列	8	エンティティをユニークに識別するために付与。基本的に新規追加時にカウントアップしてコード付与する(チェック数字以外は連番)	
	コード12	コード	文字列	12	エンティティをユニークに識別するために付与。コード上位桁に意味を持たせるような複合的なものを付与する際に利用する	
	金額	金額または額	数字	15		
	部署名	名	文字列	20		
	会社名	名	文字列	40		
	コメント100	-	文字列	100		
	コメント200	-	文字列	200		

「項目名付与時データ種別」にデータ項目辞書にて命名・登録する名称を記載する。
指定しない場合は適宜命名可能。

■基本設計書 X.データ設計 X.3データ項目辞書

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

No	データ項目名	データ種別	データ型	桁	説明	入力補助	担当部門	備考
	請求明細要否フラグ	フラグ	文字列	1				
	取引先名	会社名	文字列	40	データ型・桁は、「データ種別定義書」より表示する。			
	備考	コメント100	文字列	100				
		項目名は「項目名付与ルール定義書」の命名ルールに従い、「データ種別定義書」の「項目名付与時データ種別」を使用して命名する。						

■基本設計書 X.テーブル設計 X.1 テーブル一覧

作成者 : ○○○○○○ 作成日 : XXXX/XX/XX 修正者 : ○○○○○○ 修正日 : XXXX/XX/XX

No	テーブルID	テーブル名	説明	分類	備考

■基本設計書 X.テーブル設計 X.2 テーブル定義書

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

テーブルID:xxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxx

No	PK	UK	FK	項目名	データ型	桁	NotNull	初期値	入力制約	備考

■基本設計書 X.共通 X.1 CRUD図

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

No	機能ID	機能名	○○情報			○○情報			○○情報				
			テーブルA	テーブルB	テーブルC	テーブルD	テーブルE	テーブルF	テーブルG	テーブルH	テーブルI	テーブルJ	テーブルK
			CRUD										

フィルターをかけやすくなるため、1つのセルに「CRUD」を記入

■基本設計書 X.共通 X.2 コード定義書

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

No	コード番号	コード名	コード値	説明	備考
	AC01001	銀行コード	B01	AAA銀行	
	AC01001	銀行コード	B02	BBB銀行	
	AC01001	銀行コード	B03	CCC銀行	
	AC01002	取引先コード	自動採番	T + 連番	

固定値を持たないコードは説明欄に採番ルールを記載

■基本設計書 X.共通 X.3 区分定義書

作成者 : ○○○○○○ 作成日 : XXXX/XX/XX 修正者 : ○○○○○○ 修正日 : XXXX/XX/XX

No	区分コード	区分名	区分値	説明	備考
	AS01001	支払区分	0	現金	
	AS01001	支払区分	1	振込	
	AS01001	支払区分	2	カード	

■基本設計書 X.共通 X.4 メッセージ一覧

作成者：○○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

No	メッセージID	種別	レベル	メッセージ	備考
		業務/システム など	入力チェック/存在チェック/関連チェックなど	エラー/警告 /確認/通知 など	

■基本設計書 X.その他 X.5 共通処理一覧

作成者：○○○○○ 作成日：XXXX/XX/XX 修正者：○○○○○ 修正日：XXXX/XX/XX

No.	共通処理ID	共通処理名	説明	INPUT	OUTPUT